

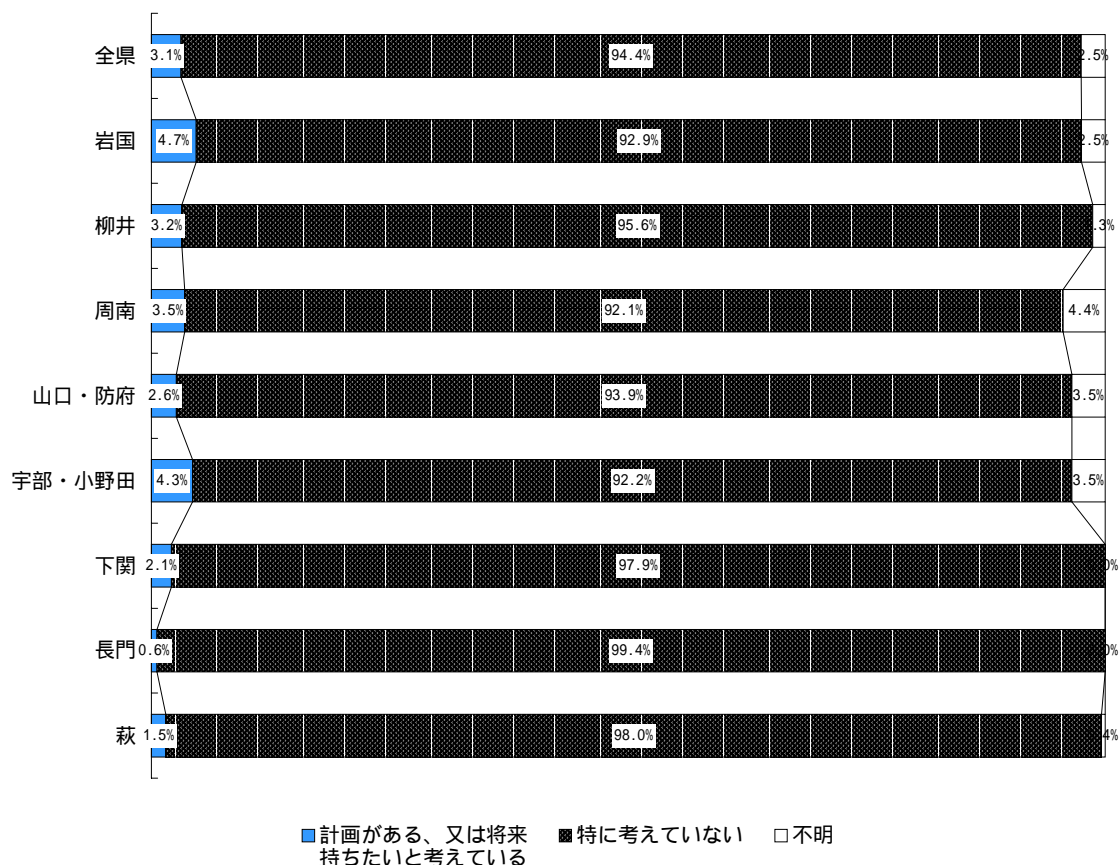
10. 別荘やセカンドハウスの有無と保有計画

全県、圏域別

別荘やセカンドハウスについて、既に「持っている、または借りている」世帯は全体で1.5%、今後持つ、または借りる「計画がある」世帯は0.5%となっている。また、2.6%の世帯が「計画はないが、将来は持ったり借りたりしたい」と考えている。これに対して、「特に考えていない」とする世帯は94.4%である。平成10年調査では、「既を取得」が1.4%、「取得を計画」が1.1%、「計画はないが将来取得を希望」が9.7%であり、それぞれ0.1ポイントの増加、0.6ポイントの減少、7.1ポイントの減少となっている。

圏域別にみると、「持っている、または借りている」、「計画がある」、「計画はないが、将来は持ったり借りたりしたい」とする世帯の割合は、岩国地域、宇部・小野田地域で高くなっている。

(図 - 32) (表 - 72)



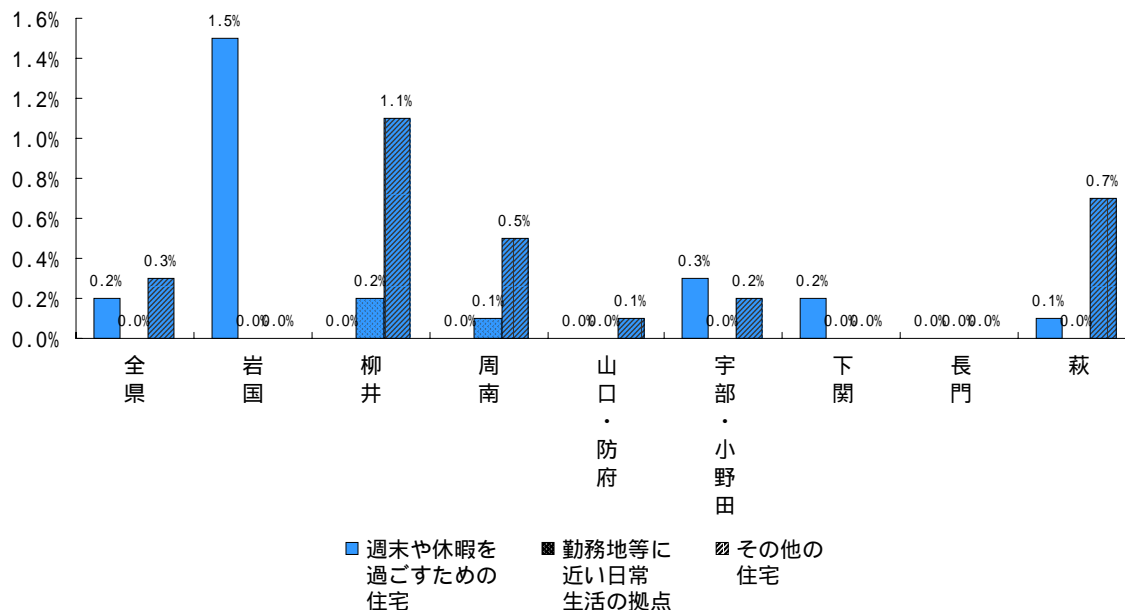


図 - 32 圏域別、別荘やセカンドハウスの計画の有無と保有の目的〔計画のある世帯〕〔山口県〕

住宅のタイプ別

住宅タイプ別にみると、別荘やセカンドハウスを「持っている、または借りている」、「計画がある」、「計画はないが、将来は持ったり借ったりしたい」とする世帯の割合は、ともに持家で高くなっている。

圏域別、住宅タイプ別にみると、「持っている、または借りている」世帯の割合は周南地域の借家で2.9%と最も高く、次いで岩国地域の借家2.8%、岩国地域の持家2.6%となっている。

(表 - 73)

収入階層別

収入階層別にみると、別荘やセカンドハウスを「持っている、または借りている」、「計画がある」、「計画はないが、将来は持ったり借ったりしたい」とする割合は、年収1,200万円以上の世帯で高い。年収1,200万円未満の世帯の中では、年収600～800万円未満の世帯で「持っている、または借りている」、「計画はないが、将来は持ったり借ったりしたい」とする割合が高い。

一方で、平成10年調査と比較すると、収入にかかわらず、「計画はないが将来は持ったり借ったりしたい」と考える世帯の割合は減少している。

(表 - 74)

年齢別

世帯主の年齢別にみると、別荘やセカンドハウスについて、「計画はないが、将来は持ったり借ったりしたい」と考える割合は、30歳代から50歳代にかけて高まる傾向があり、実際に「持っている、又は借りている」割合は「50～54歳」で最も高くなっ

ている。

(表 - 75)